

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年8月31日(2006.8.31)

【公表番号】特表2002-520315(P2002-520315A)

【公表日】平成14年7月9日(2002.7.9)

【出願番号】特願2000-559088(P2000-559088)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/404 (2006.01)

A 6 1 K 31/192 (2006.01)

A 6 1 K 31/405 (2006.01)

A 6 1 K 31/573 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

C 0 7 D 209/12 (2006.01)

C 0 7 D 209/14 (2006.01)

C 0 7 D 209/18 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/404

A 6 1 K 31/192

A 6 1 K 31/405

A 6 1 K 31/573

A 6 1 K 45/00

C 0 7 D 209/12

C 0 7 D 209/14

C 0 7 D 209/18

A 6 1 K 31/404

A 6 1 K 31:573

A 6 1 K 31/405

A 6 1 K 31:192

【手続補正書】

【提出日】平成18年7月3日(2006.7.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

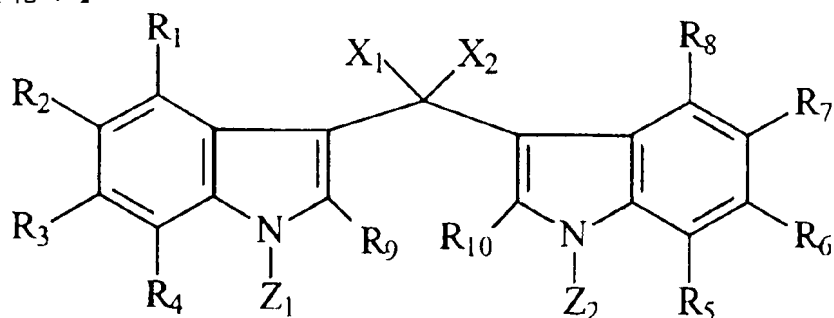
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 炎症の治療に用いるために特に適合された組成物であって、下記の構造を有する化合物を含む組成物：

【化1】



上式で、 $R_1 \sim R_{10}$ は同じかまたは異なっていて、-H、-OH、ハロゲン、-COOH、-COOR、C1~C8アルキル、C1~C8アルコキシル、メシル、トシル、-OCOR、および NZ_1Z_2 （ただしZは同じでも異なってもよい）からなる群より選択され；

X_1 および X_2 は同じかまたは異なっていて、-H、-R、および-COYからなる群より選択され；
Yは-H、-OH、 NZ_1Z_2 （ただし Z_1 および Z_2 は同じでも異なってもよい）C1~C8アルキル、C1~C8アルコキシルまたはアミン官能基を通じて連結され、アミド結合を形成するアミノ酸であり；

Z_1 および Z_2 は同じかまたは異なっていて、-H、-OH、C1~C8アルキル、C1~C8アルコキシルおよび-CORからなる群より選択され；かつ

RはC1~C8アルキル、またはアリールである。

【請求項2】 X_1 はH、 X_2 はCOOH、 $R_1 \sim R_{10}$ はH、および Z_1 、 Z_2 はHである、請求項1記載の組成物。

【請求項3】 X_1 、 X_2 はH、 $R_1 \sim R_{10}$ はH、および Z_1 、 Z_2 はHである、請求項1記載の組成物。

【請求項4】 X_1 はH、 X_2 は CH_3 、 $R_1 \sim R_{10}$ はH、および Z_1 、 Z_2 はHである、請求項1記載の組成物。

【請求項5】 第二の活性成分をさらに含む、請求項1記載の組成物。

【請求項6】 前記第二の活性薬剤がステロイド系抗炎症化合物、非ステロイド系抗炎症化合物、抗ウイルス化合物、抗菌化合物、抗真菌化合物、および抗腫瘍化合物からなる群より選択される、請求項5記載の組成物。

【請求項7】 前記化合物が前記組成物の約0.1から約45重量%である、請求項1記載の組成物。

【請求項8】 前記化合物が前記組成物の約1から約25重量%である、請求項7記載の組成物。

【請求項9】 免疫原性由来の炎症を治療するために用いられる、請求項1記載の組成物。

【請求項10】 原発活性化炎症が神経性の由来である炎症を治療するために用いられる、請求項1記載の組成物。

【請求項11】 侵害受容炎症経路を阻止するために用いられる、請求項10記載の組成物。

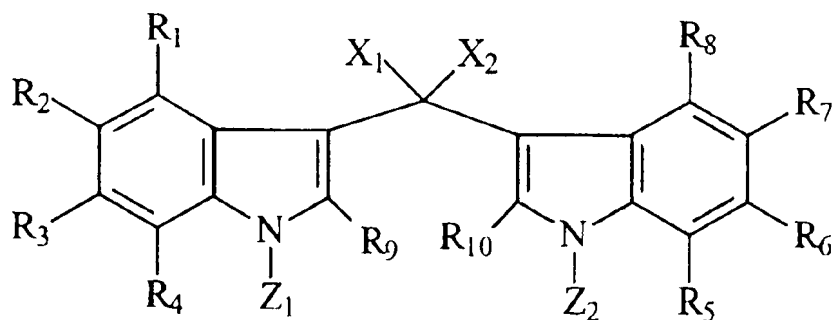
【請求項12】 前記組成物が一つまたは複数の請求項1記載の化合物と許容される薬学的担体とを含む、請求項1記載の組成物。

【請求項13】 前記化合物が美容組成物として投与される、請求項1記載の組成物。

【請求項14】 ヒトまたは動物の状態の治療用組成物であって、該状態が疼痛；火傷；アレルギー反応；慢性関節リウマチ；骨関節症；急性関節炎症、慢性関節炎症、または両方を含む他の炎症状態；創傷治癒；アナフィラキシー反応；炎症性腸疾患；腎炎；結膜炎；炎症性歯肉疾患；急性喘息発作および化学物質暴露による肺の炎症からなる群より選択され、

該組成物は、ビス複素環式化合物またはその塩、類似体、もしくは誘導体を含有し、該ビス複素環式化合物が下記の構造を有する前記組成物：

【化2】



上式で、 $R_1 \sim R_{10}$ は同じかまたは異なっていて、 $-H$ 、 $-OH$ 、ハロゲン、 $-COOH$ 、 $-COOR$ 、 $C1 \sim C8$ アルキル、 $C1 \sim C8$ アルコキシル、メシル、トシル、 $-OCOR$ 、および NZ_1Z_2 （ただし Z は同じでも異なってもよい）からなる群より選択され；

X_1 および X_2 は同じかまたは異なっていて、 $-H$ 、 $-R$ 、および $-COY$ からなる群より選択され；
 Y は $-H$ 、 $-OH$ 、 NZ_1Z_2 （ただし Z_1 および Z_2 は同じでも異なってもよい） $C1 \sim C8$ アルキル、 $C1 \sim C8$ アルコキシルまたはアミン官能基を通じて連結され、アミド結合を形成するアミノ酸であり；

Z_1 および Z_2 は同じかまたは異なっていて、 $-H$ 、 $-OH$ 、 $C1 \sim C8$ アルキル、 $C1 \sim C8$ アルコキシルおよび $-COR$ からなる群より選択され；かつ

R は $C1 \sim C8$ アルキル、またはアリーールである。

【請求項15】 前記疼痛が片頭痛、鼻炎、熱誘導性疼痛、放射線誘導性疼痛、および化学物質誘導性疼痛からなる群より選択される症状により引き起こされる、請求項14記載の組成物。

【請求項16】 前記火傷が化学的火傷、化学物質誘導性病変、放射線火傷、および熱傷からなる群より選択される、請求項14記載の組成物。

【請求項17】 前記状態がアレルギー反応である、請求項14記載の組成物。

【請求項18】 前記治療が創傷治癒の促進を助ける、請求項14記載の組成物。

【請求項19】 前記状態が動物またはヒトの全身性アナフィラキシー反応である、請求項14記載の組成物。

【請求項20】 前記状態が炎症性腸疾患である、請求項14記載の組成物。

【請求項21】 前記状態が腎炎である、請求項14記載の組成物。

【請求項22】 前記状態が結膜炎である、請求項14記載の組成物。

【請求項23】 前記状態が炎症性歯肉疾患である、請求項14記載の組成物。

【請求項24】 前記状態が急性喘息発作および化学物質暴露による肺の炎症からなる群より選択される、請求項14記載の組成物。

【請求項25】 前記状態が慢性関節リウマチ、骨関節症、および急性関節炎症、慢性関節炎症、または両方を含む他の炎症状態からなる群より選択される、請求項14記載の組成物。